

なるとにしあそびラボ てとてとて
子育て・親育ちプロジェクト 2017 Vol.2

絵本作家・イラストレーター
きむら だいすけ
木村太亮さんの
アートワークショップ



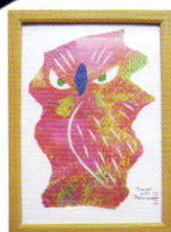
鳴門市市制70周年記念
WeLoveなると
まちづくり活動応援補助金制度

なるとでちぎると アートになると

& およこdeえほん
なるとスペシャル

こどもたちに大人気の図鑑「新版NEO恐竜」(小学館)でご存知の
絵本作家・イラストレーターの木村太亮さんのワークショップを開催します。
みんながちぎった「ちぎられたカタチ」が、
木村さんとの対話を通して「イキモノになっていくこと」を体験します。
夏休みのいちにちを、親子でアート体験してみませんか？

会場では「およこdeえほん」も開催。お気に入りの絵本を、親子や会場のみんなに
読んであげたり、読んでもらったりして夏の日をのんびり楽しみましょう。



おとなもこどもも、
ひとりにひとつずつ
額に入れて作品を
完成させるよ。

世界にひとつだけの
キミだけの作品！
どこにかざる？

*完成した作品は持ち帰れます

7/29 土 14:00 - 16:00 *13:30 開場

鳴門市健康福祉交流センター 3階 鳴門市撫養町南浜字東浜24番地2
(鳴門市文化会館横)

参加費：ひとり300円 (親子15組・事前申込必要)

お申し込み → 761024tetete@gmail.com

お申し込み前にご確認ください

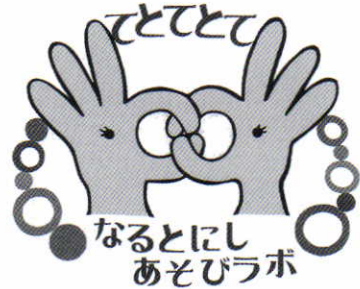
*作品は、大人も子ども一人ひとつずつ作り、額に入れた状態で持ち帰りいただけます。
*作品は、イラストレーターの木村太亮さんと仕上げる工程があるため、お待ちいただく時間が発生
することをご了承ください。待ち時間を楽しく過ごしていただくために、会場では絵本イベント
「およこdeえほん」を同時開催しています。お気に入りの絵本を1冊ずつご持参ください。
*申込受付時にメールが届きます。上記アドレスからのメールが受信できるよう設定をお願いします。



なるとにしあそびラボ てとてとて「子育て・親育ちプロジェクト」

「なるとにしあそびラボ てとてとて」は、鳴門市鳴門町・鳴門西小学校区の読み聞かせボランティア「お話しチョボラ」を母体に、学校の枠にとらわれず、もっと広い視点で「子育て」を考えることができることを願い2013年に発足しました。

私たちを含めて子育て中の家庭では子どもが将来自立、自律して生活していけるように願い、子どもと向き合っています。しかしその思いとは裏腹に、どのように子どもに働きかけたらいいか、どのように関わればいいのか悩み、結果過保護・過干渉になってしまうことも多いかもしれません。子どもと大人(親)と地域を繋ぐ「てとてとて」は、日常生活の中で親子が共に時間を過ごす中で『親も子ども共に学び共に育つ』学びの場「子育て 親育ち プロジェクト」を始動。毎回テーマに応じた第一人者を招き、子どもにも大人にもより良い学びの場を提供します。2017年度の「子育て・親育ちプロジェクト」をご紹介します。



こんどのプロジェクトはこちら！



絵本作家・イラストレーター 木村太亮さん主催の
アートワークショップ **らくがき 楽描** が、鳴門にやってくる！

なるとでちぎるとアートになると

元々は「絵が描けないと信じている大人の解放のためのアートワークショップ」として開催されていた「楽描(らくがき)」は、誰もが「作る事」や「描く事」を楽しめるワークショップ。あなたが直感で選んだ紙を、無為な気持ちでちぎった「カタチ」に、木村さんとお話ししながら、目や口の大きさ、色、位置などを決めていき、最後に木村さんの魔法で「イノチ」を吹き込んで世界にひとつだけの作品を作り上げます。



木村太亮(きむら・だいすけ)さん プロフィール

絵本作家・イラストレーター。1960年東京生まれ。主に生きものの絵を中心に幅広く活動。小学館の図鑑「新版NEO恐竜」や、光村図書出版刊の平成27年度検定教科書「せいかつ科」などにも挿画を提供。近年「いきもの」をテーマとしたアートワークショップ「楽描」や講演を、各地の幼稚園、小学校、公共施設企業館などで展開している。著書に「うんちコロコロんちはいのち」(岩崎書店)など。

同時開催

& おやこdeえほん なるとスペシャル

てとてとて「おやこdeえほん」は、みんなが持ち寄ったお気に入りの絵本を読んであげたりもらったりするワークショップ。ゆったりのにびり絵本を楽しみましょう！

そして今回は、「てとてとて」の活動拠点・鳴門市が「市制70周年」を迎えるのを記念して、鳴門にまつわる絵本や資料を集めたコーナーも開設します。

夏休みの宿題にもびったり！
小・中学生のお兄ちゃんや
お姉ちゃんも一緒に来てね！



これからの子育て・親育ちプロジェクト2017

10/21
開催決定!

家庭経済学の専門家

坂本有芳さんの

親子向け
「お金を考える」ワークショップ

お金を使う(消費する)とはどういうことか？
いつ、何に、どれくらい使うか？
「よく考えてお金を使う」の「よく考える」
ポイントについて一緒に考えましょう。

講師は、鳴門教育大学大学院学校教育研究科准教授の坂本有芳さん。大学でも今注目の「エシカル消費」をテーマにライフスタイルをスマートにする連続講座を開催予定。

11/25
開催決定!

キャリアコンサルタント

柴田朋子さんの

親子向けワークショップ
親子で挑戦！貿易ゲーム

貿易を疑似体験する
「貿易ゲーム」を通して、
自分で考え、行動する力を
養います。

講師はJUNO(ユノー)代表の柴田朋子さん。民間企業から公務員に転身、様々な分野に携わり、その豊富な職歴・人生経験を軸に、キャリアコンサルタントとして幅広く活躍中。

徳島県在住の絵本画家

羽尻利門さんのおはなし会

羽尻さんの描く作品は、大人にはどこか懐かしく、子どもはその繊細さに興味津々... 誰もが見入ってしまう魅力があります。徳島を描いた作品も多い羽尻さんに、絵本にまつわるいろんなお話をうかがいます。

主な作品：『あいつとぼく』（社村ノリアキ/PHP研究所）
『やめる、スカタン！』（くすのきしげのり/小学館）
『Are You an Echo?』（Chin Music Press）
『夏がきた』（あすなる書房）
『ごめんない』（サトシ/ポプラ社）など多数

子育て・親育ちプロジェクト2017 活動報告



Vol.1 1級家事セラピスト・桑井優子さんの

「社会で活躍する人材の育み方 ～親だからできること～」(6/3開催)

昨年の親子向けお手伝いワークショップが大好評だった桑井優子さんを講師に迎え、大人向けのセミナーを開催。1歳の赤ちゃんのお母さんから、もうすぐお孫さんを迎える方までの子育て世代が集まり、一緒に学びました。



「ありがとう」をたくさん伝えよう

「ありがとう」をたくさん浴びて育った子は、自尊感情が高くなります。褒めるハードルを低くして「ありがとう」のシャワーを浴びせましょう。

お手伝いをしたくなる仕組みづくりをしよう

お手伝いには、段取り力や周囲の観察力、見えない学力が付き、社会で活躍する人材に育つための要素がたくさん詰まっています。子どもがお手伝いに参加できるようにするための仕組み(仕掛け)づくりも大切。家族で話し合ってみましょう。

「え！これも過干渉?!」何かひとつやめてみよう!

学校に遅刻しないように、忘れ物をしないように、あれこれ声をかけていませんか？子どもの自立のために、何かひとつ、やめてみましょう。



自分がいかに過保護で過干渉な親なのかわかりました！してあげなくちゃ、と思っていたことを、子どもを信じ、子どもの自立のためにひとつずつやめていきたいです。

子どもにありがとうと伝えたり、褒めたりする基準が高くなっていることに気付かされました。自分の意識を変えることが大切ですね、目からウロコでした。



桑井さんの経験に基づくお話には説得力がありました。そして楽しい！よく笑い、泣き・・・感動しました。

